

FIFA ワールドカップ^{こうしきしあいきゅう} 公式試合球 (1998~2018)



トリコロール

【大会】1998FIFA ワールドカップ フランス

【優勝国】フランス

ボールの名前は、赤、青、白からなるフランス国旗^{こっき ゆらい}に由来しています。
ボールは、正五角形12枚と、正六角形20枚の計 32枚の革を組み合わせた亀甲型です。



フィーバーノヴァ

【大会】2002FIFA ワールドカップ 日本/韓国

【優勝国】ブラジル

ボールの名前の「フィーバー」は、FIFA ワールドカップに注がれる世界中の人々の熱気^{そそ}をあらわします。
また、「ノヴァ」は、「新星^{しんせい}」を意味しています。ボールは、計 32枚の革を組み合わせた亀甲型^{きっこうがた}です。



+チームガイスト

【大会】2006FIFA ワールドカップ ドイツ

【優勝国】イタリア

ボールの名前は、「チームスピリット」^{くわ}が加わることで、より強くなれるという意味をあらわしています。
14枚のパネルを、特別な接着剤^{くっべつ}でつなぎあわせることで、どの部分もかたさが一定となるため、
正確なコントロール^{せいかく}ができます。



ジャブラニ

【大会】2010FIFA ワールドカップ 南アフリカ

【優勝国】スペイン

ボールの名前は、南アフリカの公用語で「祝杯^{こいうご}」という意味です。アフリカ大陸初開催を記念して
名づけられました。ボールは、8枚の立体パネル^{しゆくはい}を組み合わせることで、限りなく真球^{たいりくはつかいさい}に近くなりました。



ブラズーカ

【大会】2014FIFA ワールドカップ ブラジル

【優勝国】ドイツ

ボールの名前は、「感情ゆたか^{かんじょう}で、リズムにあふれ、友好的^{ゆうこうてき}」なブラジルらしいスタイルを表しています。
十字型の6枚のパネル^{じゆうじがた}を組み合わせることで、ボールバランスや飛び方の安定性^{あんていせい}がよくなりました。



テルスター18

【大会】2018FIFA ワールドカップ ロシア

【優勝国】フランス

「テルスター18」は1970年メキシコ大会の公式試合球「テルスター」の伝統^{でんとう}と、最新テクノロジー^{さいしん}をあわせたボールです。新しい形の6枚均一^{まいきんいつ}パネルを組み合わせることで、どこをキックしても、正確なパスやシュート^{せいかく}をすることができます。

協力：(株)モルテン

日本代表 FIFAワールドカップ ユニフォーム (1998~2018)



1998FIFA ワールドカップ° フランス

【コンセプト】 燃えさかる炎

炎のデザインを両そでとパンツに表現しました。



2002FIFA ワールドカップ° 日本/韓国

【コンセプト】 富士山

首から袖口にのびる赤いラインが富士山をあらわしています。

シンプルなデザインで日本の美をあらわしています。



2006FIFA ワールドカップ° ドイツ

【コンセプト】 刃文

日本刀の刃に波打つ文様「刃文」をモチーフにしています。ジャパンプルーの美しい海に

囲まれた国土から、淡いブルーの空（世界）へ高く羽ばたくイメージをあらわしています。



2010FIFA ワールドカップ° 南アフリカ

【コンセプト】 革命に導く羽

デザインは、日本サッカー協会のシンボルマークである三足鳥の羽をあらわしています。



2014FIFA ワールドカップ° ブラジル

【コンセプト】 円陣

背面にデザインされた一本線は、選手やサポーターが「円陣」を組んだときに、ひとつの大きな輪となります。また、胸元のエンブレムを中心にして外側に向かって書かれた線は、11人の選手がピッチへと広がっていく様子をあらわしています。



2018FIFA ワールドカップ° ロシア

【コンセプト】 勝色

「勝色」を意味する日本の伝統色である深く濃い藍色をベースに、日本代表の勝利をイメージしています。「刺し子柄」に、これまでの日本サッカーの歴史を築いてきた選手やスタッフ、サポーター達の想いを紡ぎ、ロシア大会へ挑むというメッセージをこめています。

写真：©JFA